

2014年度 SEIKI Formula Team

SEIKI Formula Team

SEIKI Formula Team

<http://www.sd.seikei.ac.jp/formula/>



今回の総合結果・部門賞

●総合32位

Profile チーム紹介・今までの活動

成蹊フォーミュラチームは、学生が主体となりマシンを1から作り上げることをチームの基礎としています。我が強い人が多く、意見のぶつかり合いが多いチームであると思います。

Team-member チームメンバー

伊豆 将聡 (CP)

堀口 淳司 (FA)、佐藤 亮太 (TM)、浅利 元貴、川口 大河、鈴木 洸太、湯浅 聡一郎、手嶋 翔平、飯島 清、中野 伸治、笹岡 祐太、新井 大輝、仁井田 みこ、吉田 梨穂、西川 沙羅、松田 真、高橋 健太

Sponsors スポンサーリスト

東鋼管工業、一世印刷、えびづか接骨院、F.C.C.、カズマスポーツ、キノクニエンタープライズ、協和、小林機工、住友電装、ゼロワン、ダウ化工、つなぎ屋本舗、東北ラジエータ、トタル・ルブリカンツ・ジャパン、ナブス三鷹、日信工業、新高ギヤー、NTN、RPM、THK

Presentation プレゼンテーション

マシン名: **SFT08**

SFT08は基本性能の追求をコンセプトとし、新しい設計アプローチを取り入れて作り上げました。例年の車高に比べて30mm低い35mmまで下げ、車重も20kg近く軽量化するなど今までにないチャレンジをしました。例年の設計方法ではこの車高は非常に困難でしたので、今までの枠にとらわれず新しい設計アプローチを取り入れる必要がありました。そのため他チームと技術交流することで新しい設計アプローチを吸収、取り入れました。

車高を下げ、重心高を下げる事で急激な荷重変化を抑えフラットライドな乗り味を実現し、「走る」、「曲がる」、「止まる」という基本性能を向上することに成功致しました。

Participation report 参戦レポート

今年度は20番以内という目標のもと、基本性能の追求をコンセプトに製作してきました。他チームと技術交流し、新しい設計アプローチを取り入れ、吸収することで過去最高のポテンシャルを持ったSFT08が生まれました。そして試走会を重ね、マシンのバグが出る度に自分たちで考え熟成させてきました。

今大会中にハブに大きなトラブルが起り、通常なら出走を諦めるほどのものでしたが、私たちは最後まで絶対に諦めず、思考を止める事をしませんでした。すぐに対策を練り、修理してコース上に復帰したときは他チームやスタッフが驚くほどでした。

エンデュランスでは、天気が味方してくれずウェットタイヤからドライタイヤにスイッチする時に走行したため、ドライタイヤ勢には勝てず悔しい思いをしました。過去最高のポテンシャルを持ちながら、その全てを出し切れなかったことが悔しくて仕方ありませんが、本大会で全てのポテンシャルを出すことの難しさというものを痛感いたしました。

来年度の後輩も辛くてどうしようもない日が続くと思います。でも、絶対に諦めないでください、思考を止めないでください。その終点に奇跡は待っています。

この1年間最高でした！ 頑張れ後輩！